

「新しい生活様式」の実践例①



日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝家族で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合は
ムリせず自宅で療養
- 屋内や会話をするときには、症状がなくてもマスクを着用



外出控え



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い

「新しい生活様式」の実践例②

日常生活の各場面別の生活様式



買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

施設類型ごとの感染防止対策①



【クラスターが基本的に発生していない施設類型】

施設類型	感染防止対策
<ul style="list-style-type: none"> ○劇場、観覧場、映画館、演芸場 ○集会場、公会堂、展示場 	<ul style="list-style-type: none"> ①マスク着用、十分な座席間隔(四方を空けた席配置)の確保 ②入退出時や集合場所で、人と人との十分な間隔(2mを目安)の確保 ③適切な消毒、換気等
<ul style="list-style-type: none"> ○博物館、美術館、図書館 	<p>上記①～③に加え、</p> <ul style="list-style-type: none"> ④入場の制限等による、人と人との十分な距離(2mを目安)の確保
<ul style="list-style-type: none"> ○百貨店、マーケット その他の物品販売業を営む店舗 ○理髪店、質屋、貸衣装屋その他 類似サービス業を営む店舗 ○自動車教習所又は学習塾その他 学習支援業を営む施設 	<p>上記①～③に加え、</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤従業員と客との間、客と客との間にパーテーションを設置
<ul style="list-style-type: none"> ○遊技施設 	<p>上記①～③に加え、</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥客同士の大声での会話の自粛の呼びかけ かつBGMや機械の効果音の最小限化 (従業員が客同士の大声での会話の自粛を確認できる状態に！)
<ul style="list-style-type: none"> ○ホテル、旅館業を営む施設 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦不要不急の帰省や旅行など 都道府県をまたいで人が移動することを極力避けること

施設類型ごとの感染防止対策②



【クラスターが発生した主な施設類型】

施設類型	感染防止対策
○食堂、レストラン等の接待を伴わない飲食店	<ul style="list-style-type: none">①マスク着用、十分な座席間隔(四方を空けた席配置)の確保②入退出時や集合場所で、人と人との十分な間隔(2mを目安)の確保③適切な消毒、換気等④個室などの密閉した部屋の使用や座敷席等における多人数での使用を控える⑤座席の間にパーテーションを設ける、又は座席の間隔を十分に空ける⑥接客時のマスク着用、適切な消毒や清掃、大皿での取り分けによる食品提供の自粛⑦従業員や出入り業者に発熱や感冒症状がある場合の衛生・健康面の管理⑧酒類の提供時間への配慮
○スポーツジム等の屋内運動施設	※密閉した空間での呼気が激しくなる室内運動は感染リスクが大きい
○カラオケ、ライブハウス等	※密閉した空間での大声での発声を伴うため感染リスクが大きい
○キャバレー、ナイトクラブ等の接待を伴う飲食店	※「繁華街の接待を伴う飲食店」については、外出の自粛をお願いしております。

感染防止に当たっての注意事項①



事業者において、提供しているサービスの内容に応じて、「接触感染」と「飛沫感染」のそれぞれについて、従業員や顧客の動線や接触等を考慮し、消毒など対策を実施する。

○接触感染対策のポイント

- 他者と共有する物品やドアノブなど手が触れる場所と頻度を特定
- 高頻度接触部位には特に注意
(テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、キーボード、タブレット、タッチパネル、レジ、蛇口、手すり・つり革、エレベーターのボタン など)

○飛沫感染対策のポイント

- 換気の状態を考慮しつつ、人と人との距離がどの程度維持できるか
- 施設内で大声などを出す場がどこにあるか など

出典：新型コロナウイルス感染症対策専門家会議

「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年5月4日）

徳島県新型コロナウイルス感染症対策本部（2020年5月25日）

感染防止に当たっての注意事項②



各業種に共通する留意点

- 人との接触を避け、対人距離を確保（2mを目安）
- 感染防止のための入場者の整理
（密にならないよう対応。発熱や感冒症状がある者の入場制限を含む）
- 入口及び施設内の手指の消毒設備の設置
- マスクの着用（従業員及び入場者に対する周知）
- 施設の換気（2つの窓を同時に開けるなどの対応も）
- 施設の消毒

※業種ごとに対応を検討するに当たり、全国でクラスターが発生している施設においては、**格段の留意が必要**

主な感染対策

- 他者と共用する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限に！
 - 複数の人の手が触れる場所を適宜消毒
 - 手や口が触れるようなもの（コップ、箸など）は、適切に洗浄消毒など特段の対応を！
 - 人と人が対面する場所は、アクリル板・透明ビニールカーテンなどで遮蔽
 - ユニフォームや衣服はこまめに洗濯
 - 手洗いや手指消毒の徹底を！
 - 高齢者や持病のある方については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、サービス提供側においても、より慎重で徹底した対応を検討
 - 地域の生活圏において、地域での感染拡大の可能性が報告された場合の対応について事前に検討を！
- ※ なお、感染拡大リスクが残る場合には、対応を強化すること！

感染防止に当たっての注意事項③



<p>トイレ</p> <p>※感染リスクが比較的高いと 考えられるため留意</p>	<ul style="list-style-type: none">• トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。• ペーパータオルを設置するか、個人用にタオルを準備する。• ハンドドライヤーは止め、共通のタオルは禁止する。
<p>休憩スペース</p> <p>※感染リスクが比較的高いと 考えられるため留意</p>	<ul style="list-style-type: none">• 一度に休憩する人数を減らし、対面で食事や会話を避ける。• 休憩スペースは、常時換気することに努める。
<p>ゴミの廃棄</p>	<ul style="list-style-type: none">• 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛る。• ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。• マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗う。
<p>清掃・消毒</p>	<ul style="list-style-type: none">• 市販されている界面活性剤含有の洗浄剤や漂白剤を用いて清掃する。• 通常の清掃後に、不特定多数が触れる環境表面を始業前、始業後に清拭消毒することが重要。
<p>美容院や理容、 マッサージなど</p>	<ul style="list-style-type: none">• 顧客の体に触れる場合は、手洗いをこまめにするなど接触感染対策を強化する。 <p>※ 手袋は医療機関でなければ特に必要はなく、こまめな手洗いを主とする。</p>

出典：新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年5月4日）

徳島県新型コロナウイルス感染症対策本部（2020年5月25日）

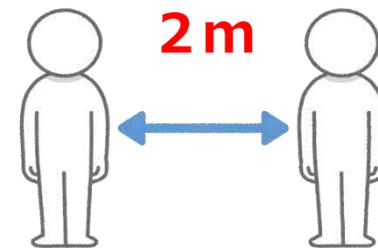
催し物（イベント）での対応、開催の注意点！！



屋内：最大100人・収容率50%以内
屋外：最大200人・人との距離を十分確保

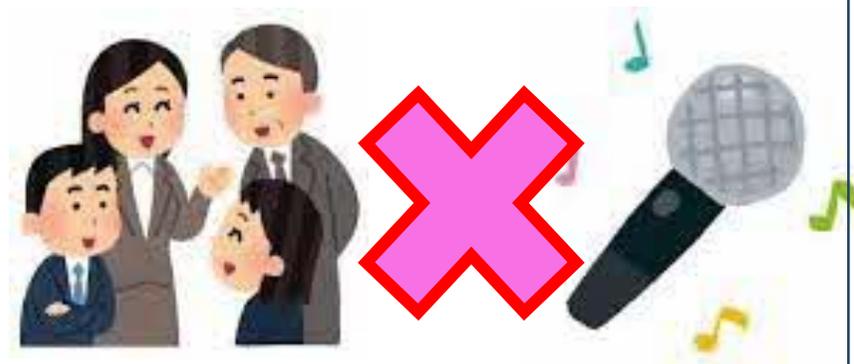
① 三つの密（密閉・密集・密接） の徹底回避

——人と人との間隔2mが目安



② 近接距離での会話は避ける

——大声での発声、歌唱や声援、
近接での会話は避ける



③ 適切な感染防止対策

——入場時の制限や誘導、手指の消毒設備設置、
マスクの着用、室内の換気

